

議事録兼報告書

会議等名称	平成25年度 第4回 伊那市子ども・子育て審議会（次世代育成支援推進協議会と合同会議）
日時	平成26年3月26日（水） 午後6：30～7：45
場所	市役所501会議室
欠席者	伊東一隆委員 伊藤百合子委員 滝芳樹委員 松崎行代委員
議題	ニーズ調査の結果について
議事内容	
<p>3 審議</p> <p>(1) ニーズ調査の実施について</p> <p><事務局> 資料により説明をする。</p> <p><審議会長> 結果について、質問・意見を伺いたい。</p> <p><次世代委員> 子どもに関わっていると発達障害が増えていると感じる。計画の中でもそういった支援も検討してもらいたい。</p> <p><次世代委員> 例えばひとり親の家庭がどんな制度を利用しているかがわかる分析をしてほしい。</p> <p><次世代委員> たくさんの子育て支援の制度があるが広報活動が不足していると感じる。</p> <p><審議会委員> 市報で広報しても、自治会に加入しない若い世代が多い。保健師訪問の際PRしては。保育園の活動もPRしてほしい。</p> <p style="padding-left: 40px;">未満児の保育の希望がこれからも増えていくと思うので、園舎建築の際は考慮してほしい。</p> <p><次世代委員> アンケート結果は「明るい」良い結果ばかりに思える。例えば、無回答とか無効という中に本当に困っている人がいるのではないか。</p> <p style="padding-left: 40px;">困っている人の把握はできているか。</p> <p><事務局> アンケート結果の無効という表現は適切ではなかったかもしれない。回答なしなどにしていきたい。問23で相談する人が誰もいないという回答が3.2%ある。</p> <p><審議会委員> 問9-1と問10を比較すると幼稚園の希望が増えている。どんな理由が考えられるか。</p> <p style="padding-left: 40px;">先ほどから問題になっている数字に表れない、出てこない保護者の悩みを掘り起こせるのか。</p> <p><次世代委員> そもそもこのアンケートの目的は。</p> <p><事務局> 国は必要な量を、伊那市は独自に保育の質など、保護者が求めているものを調査した。「出てこない人」には取り組みにくいのが、子育て支援課の母子自立支援員や子ども相談室が対応していく。</p> <p><審議会委員> 長野県は全国一5歳児の幼稚園への就園率が低い。時代は福祉重視だが教育も大事。幼稚園は転勤族の家庭が多い。</p> <p><審議会委員> 問10は未就園児の保護者が回答しているので、こういう数字になると思われる。</p>	

<審議会委員> 関東から引っ越してきた。自分が幼稚園だったから、子どもにも同じ環境を、と考えたが、希望と現状がマッチしなかった。他の地域から転入した人にもマッチするような

環境を整えることが、地域の活性化にもつながると思う。

<審議会委員> 全体として、これだけのアンケートが良くできたと思う。ここがスタートでこれからが重要なので、今後事務局が良く分析し課題を挙げたところで委員が審議する形がよいと思う。次世代育成協議会との合同で開催したことは良かった。向かう方向がみえてくる。

<審議会長> 今後は、分析や考察をみて審議していく。今日はたくさんの意見をいただく会となった。